

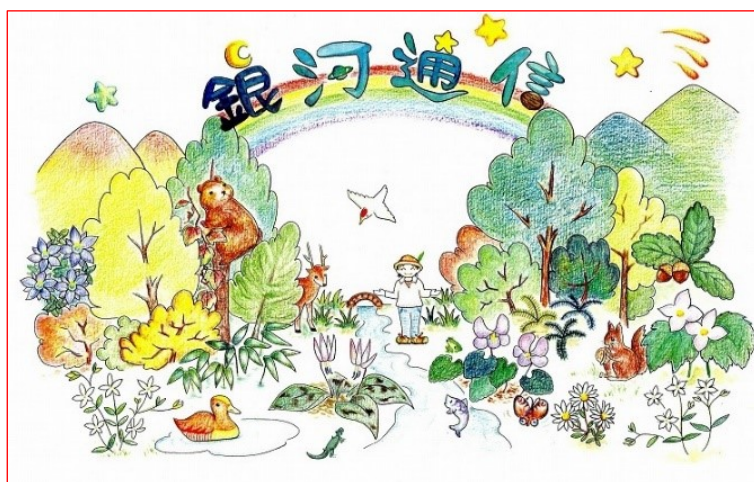
# おめでとう銀河通信200号!!



すごいね



やったね



がんばる〜



これからも

私たちの友人である樋口みな子さんが1988年から発行されてきた「銀河通信」が、2017年3月で通算200号になります。



みな子さんは、ほとんど隔月、どんなに忙しいときも、欠かさず「銀河通信」を発行されてきました。その内容はみなさまご存じのように、みな子さんが直接、関わってこられた、反原発運動から自然保護運動に至る幅広い活動、道内外でのさまざまな山登りや自然の探索、映画、読書ときわめて多面的であり、しかも、ひとつひとつ心をこめて書かれた記事のどれもが、私たちに勇気づけ、また知らなかった世界に目を向けさせてくれる豊かなものでした。

私たちひとりひとは、たんに一読者にすぎませんが、「銀河通信」を読ませていただくことで、みな子さんが関わってきたさまざまな世界を知り、私たちもまた幾分か、それらに関わりがもてたような気がします。



「銀河通信」の読者、また、みな子さんの友人として、「銀河通信」の発行200号を心からお祝いするとともに、その発行を陰で支えてこられたご家族の方がたの労をねぎらいたと思います。

ひとりでも多くの方のご参加いただきたいと思います。どうぞよろしく、お願いいたします。

実行委員会を代表して  
小野有五(北大名誉教授)

2017

お祝いする会  
銀河通信200号を



4月15日(土)午後3時から 開場2時半

北光教会2階ガリナヤホール

札幌市中央区大通西1丁目、電話011\*241\*3614

会費4000円

1(欠)は3月5日までに同封のハガキでお知らせください



私  
た  
ち  
を  
勇  
気  
づ  
け  
て  
く  
れ  
た  
み  
な  
子  
さ  
ん  
の  
豊  
か  
な  
世  
界



銀河通信

家族しんぶん 銀河通信

創刊時の題字は文字通りの手書き(右)。縦書きも自作(中)。住田真樹子さんのイラスト(左)は、最初はモノクロでスタートしました

題字は3回変わりました



## おかげさまで200号！……樋口みな子

1988年創刊の「銀河通信」が200号を迎えました。創刊当時は旭川の自然保護運動の仲間に近況を伝えるささやかな手書きの通信でした。2004年からはパソコンで編集。山の自然を守る活動、森と川を語る会、知里幸恵記念館設立運動、ハンセン病回復者と北海道をむすぶ会、泊原発の廃炉をめざす会、そして今は植村裁判を支える市民の会に全力をあげて活動しています。草の根の市民運動を伝えているうちに読者は550人になりました。ありがとうございます。もう一つの柱が本や映画の紹介です。本当に心豊かに暮らすとはどういうことなのかを、これからも伝えていきたいと思ひます。

2017年1月記

命への愛おしさや自然への温かいまなざしを様々な角度から発信し続けて、勇氣と力を与えてくれました。感謝の気持ちで、「苦勞をねぎらいたいと思ひます。」福田光子(秋田市)日本山岳会会員

長い間、仕事、子育て、介護だけに生きていたので、銀河通信は貴重な刺激でした。北海道の素晴らしさ、本や映画の紹介、さまざま活動に感嘆しながら読んでいます  
|| 宮本紀子(東京・中野区) 40年  
来の友人

とても質が高く、感性が豊かで、いつも丁寧に読ませていただいています。本と映画の案内も世界をひろげてくれます|| 松浦幸子(東京・調布市)「おいしいね」から、元気になる場「クッキングハウス」代表

みな子さん渾身の銀河通信。いつもよく見、読み、調べ、そして独自の視点で書いてくださってありがとうございます|| 水野スウ(石川県津幡町)「紅茶の時間」主宰

こんな楽しいミヨミ紙があったなんて。毎号楽しみにしています。ミヨミ作りの後輩として、心からお祝いを申し上げます|| ミリケン恵子(赤井川村) みみずく舎代表

おめでとう 銀河通信 200号